

薬理学Ⅱ

Pharmacology Ⅱ

生命：E1-02221MS

医療科目 2年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 野澤 玲子(臨床神経薬理学研究室)

■教育目的

薬理学Ⅰで学んだ神経系・免疫系・オータコイド・ホルモン関連薬を基盤として、各種疾患に対する治療薬の作用機序と有効性・安全性に関してより広く深い知識へと発展させる。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-②③】

■学習到達目標

1. 各種治療薬の薬理作用、機序、主な副作用を説明できる。(知識)
2. 各種治療薬の相互作用、依存性・耐性、副作用、毒性について具体例を挙げて説明できる。(知識)
3. 薬理学的能力を研究・開発及び臨床に応用できる。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：講義テキスト・参考書の該当箇所に目を通しておく。(30分以上)

復習：講義テキスト・参考書・確認問題等を活用し、講義内容を復習するとともに、関連事項について調べ知識を整理する。(30分以上)

■授業形態

講義

■授業内容

下記の項目に関して、薬物名、薬物の作用機序、個々の薬物の特徴などを説明する。

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	泌尿器系に作用する薬	利尿薬 排尿障害・頻尿治療薬	C-7-12-2 C-7-12-3 D-2-13-2
2	循環器系に作用する薬1	心不全治療薬 抗不整脈薬、虚血性心疾患治療薬	C-7-8-1 D-2-8-2
3	循環器系に作用する薬2	末梢血管拡張薬 高血圧・低血圧治療薬	C-7-8-5 D-2-8-2
4	呼吸器系に作用する薬	呼吸興奮薬、鎮咳・去痰薬 気管支喘息治療薬	C-7-11-2 D-2-12-2
5	消化器系に作用する薬	健胃消化薬、消化性潰瘍治療薬 胃腸機能改善薬、鎮痙薬、催吐・制吐薬 瀉下・止瀉薬、肝・胆・膵臓機能改善薬	C-7-10-2 D-2-11-3
6	生殖器系に作用する薬	子宮収縮・弛緩薬、避妊薬 性功能不全治療薬	C-7-14-2 C-7-14-4 D-2-14-2
7	血液・造血器系に作用する薬	貧血治療薬 止血薬、血液凝固阻害薬、血栓溶解薬	C-7-8-8 D-2-9-2
8	病原微生物と薬1	抗菌薬、主要な抗菌薬の耐性獲得機構	D-2-15-3 D-2-15-4
9	病原微生物と薬2	抗原虫・寄生虫薬、抗真菌薬 抗ウイルス薬 消毒薬	D-2-15-3 D-2-15-4 D-2-15-5
10	代謝系疾患の薬1	糖尿病治療薬 脂質異常症治療薬	C-7-3-3 D-2-6-5
11	代謝系疾患の薬2	高尿酸血症・痛風治療薬 骨粗鬆症治療薬	C-7-6-3 D-2-6-5
12	悪性新生物(がん)と薬1	抗悪性腫瘍薬、抗腫瘍ホルモン関連薬、抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構	D-2-16-2 D-2-16-3
13	悪性新生物(がん)と薬2	分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬 抗悪性腫瘍薬の主な副作用 支持療法	D-2-16-3 D-2-16-4

No.	項目	授業内容	学修／SBO コード
14	感覚器・皮膚の疾患と薬	眼疾患の薬 耳鼻咽喉疾患の薬 皮膚疾患の薬	D-2-7-3
15	医薬品の安全性	薬物相互作用、薬物依存性・耐性 有害事象、副作用、毒性	D-1-3-1 D-1-3-3

■ 授業分担者

山口 憲孝(No. 1～7)、野澤 玲子(No. 8～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題へのフィードバック：講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

成績評価方法：学期末試験成績(100 %)で評価する。

■ 教科書

MY-CAST にアップロードする講義資料

■ 参考書

『薬がみえる(vol.2、vol.3)』医療情報科学研究所 編(メディックメディア)

『パートナー薬理学(第4版)』栗原 順一 他 編集(南江堂)

『グッドマン・ギルマン薬理書(上・下)』高折 修二 他 監訳(廣川書店)